

ボクシング

- 1 主催 長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
- 2 後援 長崎県 (公財) 長崎県スポーツ協会 長崎市 長崎市教育委員会
長崎県ボクシング連盟
- 3 日時 令和4年6月4日(土)～6月6日(月)
- 4 会場 長崎県立長崎鶴洋高等学校 体育館
長崎市末石町157番地1
- 5 階級 ピン級からミドル級までの8階級
- | | | | |
|-----------|---|----------|----------|
| ・ピン | 級 | 44 kg 超過 | 46 kg まで |
| ・ライトフライ | 級 | 46 kg 超過 | 49 kg まで |
| ・フライ | 級 | 49 kg 超過 | 52 kg まで |
| ・バンタム | 級 | 52 kg 超過 | 56 kg まで |
| ・ライト | 級 | 56 kg 超過 | 60 kg まで |
| ・ライトウェルター | 級 | 60 kg 超過 | 64 kg まで |
| ・ウェルター | 級 | 64 kg 超過 | 69 kg まで |
| ・ミドル | 級 | 69 kg 超過 | 75 kg まで |
- 6 競技日程

月日	曜	健診・計量			競技日程	
6月3日	金				12:00	リング搬出 (県立体育館)
					15:00	会場設営 (長崎鶴洋体育館)
6月4日	土	11:50 12:00	受付 健診・計量	当日 出場者	9:00	会場設営
					11:00	スポーツエントリーチェック (監督)
					13:00	監督会議 インテグリティ研修
					14:00	開会式
					15:00	競技開始 (1回戦)
					終了後	公開練習
6月5日	日	8:50 9:00	受付 健診・計量	当日 出場者	12:00	競技開始 (準決勝)
6月6日	月	8:50 9:00	受付 健診・計量	当日 出場者	12:00 終了後	競技開始 (決勝) 閉会式

※ 受付の時間に間に合わなければ失格とする。

※ 個人表彰は、試合後リング上で行う。

7 競技規則 (一社) 日本ボクシング連盟競技規則を適用する。

8 競技方法 トーナメント方式で行い、優勝、準優勝を決定する。

- 9 参加資格
- (1) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。
 - (2) ボクシングのトレーニングを開始して6ヶ月以上経過した者であること。
今年度、初めて登録した選手は(一社)日本ボクシング連盟に実戦競技出場資格証明書を提出済(長崎県連へ提出のこと)であること。
 - (3) 申込日までに、(一社)日本ボクシング連盟へ令和4年度の登録済みもしくは申請中の生徒に限る。(未登録者は申込を受け付けない。)
 - (4) 選手は、選手手帳を携行すること。※不携行の場合は出場できない。
 - ① 競技会場において選手手帳を忘れた選手には新たな更新はできない。
 - ② 選手手帳は、決勝まで記入できる記録欄があること。(コピーは不可)
※途中で記録欄がなくなった場合は、失格となる。
 - ③ 選手手帳を更新した場合、前の手帳も持参すること。
※持参しない場合も失格となる。
 - ④ 選手手帳には必ず写真を貼付すること。
※写真のない場合も失格となる。

10 参加制限 (1) 各校各階級2名までとする。
(全日制課程、定時制課程及び通信制課程は別とする。)

(2) 各校監督1名、サブセカンド1名、引率責任者1名までとする。

- ① 監督、チーフセカンド、サブセカンドは(一社)日本ボクシング連盟に登録されている者であること。

- ② セカンド（チーフセカンド、サブセカンド）については、「公認セカンドに関する規定」・「公認セカンド制度に関する規定運用細則」に基づく資格を有しなければ、本大会のセカンドとして行動できない。
- ③ 未登録の引率者のみの参加の場合、競技中のチーフセカンド・サブセカンド業務を他の登録者に依頼してもかまわない。
※事前に申請のこと。

- 1 1 選手変更 申込後の選手及び階級の変更は認めない。
- 1 2 表 彰 各階級優勝、準優勝選手を表彰する。
- 1 3 注意事項<重要>

(1) 各自持参するもの。

- ① 選手手帳
本年度の健康診断記録に必要事項が記載されていること。また、CT・心電図に関しても同様に記載されていること。未記載の場合は所定の記録用紙を手帳に添付しておくこと。
- ② 競技用のヘッドガード
前頭部及び側頭部に学校名等（刺繍も含む）の記入が無いもの。また、（一社）日本ボクシング連盟及びA I B Aの検定品で競技用に限る。
※持っていない場合は連盟保有のものを借用することができる。
- ③ カッププロテクター
着用しない場合は失格とする。
- ④ 競技用ユニフォーム（赤・青 背中に県名表示）、トランクス、シューズ、トランクスの丈はヒザ頭が全部見える程度。グロービング、リング上で指導があった場合は速やかに着替えること。できない場合は失格とする。
- ⑤ ガムシールド（マウスピース）
赤系は不可。着用しない場合は失格とする。
- ⑥ バンテージ
（一社）日本ボクシング連盟検定品を使用すること。違反が認められた場合は失格とする。
- ⑦ 健康申告書
必要事項を各自で記入し、引率責任者・指導者に記名捺印してもらうこと。

(2) 毛髪などについては、「日本ボクシング連盟医事ハンドブック 2019 CHAPTER X-10-2」を厳守すること。

前頭部を覆う長髪は視野を制限し、眼球傷害を引き起こしてしまう。
髪の長さは眉・耳たぶ・頰（けい）の境界を越えてはならない。

(3) 競技用ユニフォーム

- ① 赤コーナーは赤色、青コーナーは青のユニフォームとトランクスを着用すること。ベルトラインは6cm～10cm幅の白色で明確に分かれていること。
- ② 背中に県名が表示してあること。
- ③ トランクスの丈はヒザ頭が全部見えること。

(4) 選手、監督等は健康保険証を持参すること。

(5) スポーツエントリーズチェックについては、監督・コーチが参加し、選手手帳・健康申告書及び健康チェックシート・ユニホーム（赤・青）を持参することとし、不携行の場合は出場させない。

1 4 その他

新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 入り口に受付を設置し、会場入場者をチェック、体温チェック、マスクチェック、「感染対策留意事項プリント」配付、手指の消毒。体調不良者は、入場禁止。
- (2) 会場内は、試合、練習の選手を除き、原則として全員マスク着用。
- (3) 選手・大会関係者は別添『健康チェックシート』を作成し大会7日前から記録。
- (4) 試合当日に「健康申告書」及び「健康チェックシート」を持参・提出し、大会運営ドクターのメディカルチェックを受ける。
- (5) 試合当日体温が37.5度以上ある場合は、再検査を実施せず失格とし、速やかに帰宅させる。
- (6) 競技終了後は、使用したヘッドギア・グローブ等はセカンドがアルコール消毒する。
- (7) 大会役員、競技役員、引率顧問、監督、セカンド、選手、補助員にIDカードを発行し、一般応援者との接触を最小限に抑える。
- (8) 換気をするとともに、会場内では密を避けるよう周知徹底、大声の応援も禁止とする。
- (9) 共用を避けるため、参加者は、マイタオル、マイドリンク等を持参する。
- (10) 運営事務局で、使い捨てマスク、使い捨てゴム手袋、手指消毒液、フェースシールド、非接触型体温計等を準備する。